

# 崩れる

作 広田淳一  
執筆期間:2017.08.19-

## 【登場人物／出演】

- 猪俣… 会社員。ロードバイクが趣味。
- 針谷… 猪俣の同僚にして大学時代からの友人。
- 金沢… 猪俣・針谷の大学時代からの友人。会社員。
- 江田… 猪俣・針谷の大学時代からの友人。年上。会社員。
- 園田… 旅館の主。
- 松本… 旅館の従業員。
- 斉藤… 旅館の従業員。
- 宇多川… 旅館に出入りのある米屋。
- 河井… 元旅館の従業員にして、針谷と猪俣の後輩。

## 【前提】

### ◎前提／装置

#### ◎前提

日本。

郊外。人と森の間のような場所。

#### ◎装置

旅館。

### ◎表記について

- ・ — 間を取らない読点。
- ★ — 前の台詞の語尾に重ねて言う。いわゆる食い気味。
- ／ — 間髪入れずに台詞の調子・方向性を切り替える。
- || — 語尾に「||」が付き、続く行の語頭に「||」が付く場合、間髪入れずに次の台詞が始まる。行をまたいで語頭に「||」が付く場合、それらは一人の人物の連続した発話である。
- 「 — 近くにある同数のこの記号と同時のタイミングで始まり、重なったまま発話される。

▲ — そでこにはけながら言う。

▽ — 言いながら登場する。

☆ — 同じ数字の☆印を、同時に言う。

ト書きの「間」と「一拍」は、「一拍」の方が短い。

( ) のような括弧内の文字は発話されない。

このように傍点付きの台詞は強調の意味。強調して発話するとは限らない。

# 【1】夕暮れ

## オープニング

開場。

客入れ挨拶。

その流れの中で開演。

暗転。

## 到着前

### ◎クモの巣 1

とある山中。陸の孤島のような旅館。

山間に川が流れていて、その近くへひとつの宿がある。宿の名前は「クモの巣」といふ。

宿は二階建てで、古民家をリフォームした感じなまりとした造り。風は涼しく、日当たりも良い。古い木造家屋を改造したもので、宿全体は懐かしさを漂わせながらも洗練された雰囲気になってくる。

一階。

二人の従業員（斎藤と松本）が話をしている。松本はリラックスした様子。

松本 や・まあ、確かに法律上の罪ではないのかもしれないですよ？ そりゃ確かに法律上の罪ではない・というか、むしろ法律でいったら俺のが悪くなんのかもしれないですよ／や・わかつてるんですよ十分、そこのこの理屈は＝

斎藤 ああ。

松本 ＝でも、なんていうか、人としていうか、そういう、人間としてやっちゃいけないことってあるじゃないですか？＝

斎藤 へー。

松本 ＝しかもそんな、——まあ、自分に敵対している人とかだったら仕様が無いのかもしれないよ、

斎藤 ★え、え、テキ・テキ？

松本 敵対っていうか・まあ、なんか俺がそういう、仲悪い関係とかだったらまあ、向こうが悪い態度でもしょうがないかな・とは思うんですけど、「え、なんか俺、悪いことしました？」って感じなんですよ。「なんだって？」ってこののがもう全然わかんなくて＝

斎藤 ＝そんなじゃない——。

松本 はい。

斉藤 え、どうすんのこれから？

松本 知らないっすよ。——っついつかわかんないすよ。だから相談してんじやないすか、  
「どっしたらいいかなあっつ」。

斉藤 「ああ、ああ、ああ。そうだったんだ。これ相談だったんだ。

松本 え？ そうっすよだから。

斉藤 わかった・わかった＝

松本 なんすか。

斉藤 〓え、なに、まだ好きなの、その人？

松本 や・好きとかじゃないですよ。なんていうかもっ、——なんだったら憎んでもすすよ。

斉藤 憎んでる。

松本 だからまあ、仮にこのあと間違いがあつて俺が殺人とかで捕まるとしたら、そんなときは＝

斉藤 サツ・殺人？

松本 〓あいつを殺してるかな、っついつ、そんなへららの勢いっすよ。

斉藤 え、え？ 殺人？

松本 や、たとえば、たとえばたとえば、

斉藤 ★いや、殺人っつても・そんな急にお前。

松本 ★だからたとえばっすよ・なんすか。

斉藤 だつてそんな・「ええ？

松本 「ええ？ ——まあ、だからあれすすよ、そんなへららのだから、好きとかそういう感情とは

全然関係ないっつつか、」遠くにいるっつつかいっすよ。

斉藤 「え・え・え・え？ じゃあな・じゃあな・じゃあな・じゃあな、

松本 ★はい・はい・はこ。

斉藤 え・え、その人と急に付き合えるっつっても、殺すの？

松本 いや、殺さないっすよ。なんすか。例え話なんすからやめへだせよ、そういうなん

か、実際にやるっつつかいっすよ、みたいな感じの「言っ方っつ

斉藤 「え・え・え・じゃあ、どっすんの？ 付き合えるっつたらっ？

一拍。

松本 それはまたちよっつ考えますけど。

斉藤 ★いやいやいやいやいやー。好きとかそういう感覚じゃなこっつ、

松本 いや、わかんないっすよ、だつてそういうっつつかいっすよ、なればそりゃかまはさの／だつて状況が  
変わってるわけじゃないっすか、斉藤さんのなかをその、例え話の中へは

と、宇多川、宿の外から登場。











































































































































































